

来年度予算

子どもの貧困対策が前進

# ひとり親世帯への住居支援 入学準備金増額実現！

ひとり親世帯へ月額4万円の家賃補助！入学準備金増額！

小学校23690円→40600円

中学校26780円→47400円

1月23日、区より来年度予算案の説明がありました。今回は子どもの貧困対策の前進についてご報告いたします。

## ●ひとり親世帯への住居支援

区は、新たにひとり親世帯への居住支援を来年度よりモデル事業として取り組むことを明らかにしました。昨年10月、「住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律」の改正法が施行され、空き家などを活用した住宅セーフティネット制度が創設されました。住宅確保要配慮者の入居を拒まない賃貸住宅の登録制度、登録住宅に対する住宅改修費や家賃の補助のほか、住宅確保要配慮者への入居相談・援助などを行うものです。区はまずは、ひとり親世帯を対象として家賃の安い住宅の供給を行うとしています。区が行なったひとり親アンケート調査で、半数以上の世帯が「住居費が家計を圧迫している」と答えています。私は、住居費の軽減などアンケート結果を生かした対策に取り組むよう区に求めてきました。来年度、ひとり親世帯へ月額4万円の家賃補助が始まります！

## ●就学援助の入学準備金の増額が実現！

実際に入学準備にかかる費用は7万円以上。しかし、就学援助の入学準備金は小学校で2369円 中学校で26780円と実態とかけ離れていました。

わが党は、入学準備金の増額を繰り返し求めてきました。来年度予算案に、入学準備金について小学校で40600円、中学校で47400円への増額が盛り込まれました。さらに、小学生の入学準備金の入学前支給を求めていきます！

## 住宅の賃貸人に対する住宅改修費補助

防音性・遮音性の向上工事（二重底工事等や安全性向上工事（転落防止など）などに要する費用を補助する。

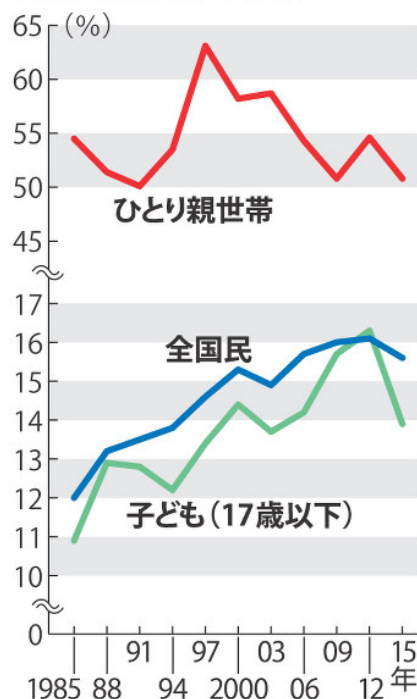
100万円/戸×10件

## 家賃補助

現在東京都においても補助要項、都区間の補助スキームを策定中であり、区の施行に向けて引き続き詳細を決めていく。

月額4万円/戸

## 相対的貧困率の推移



2017年7月21日毎日新聞からの転載

日本の子どもの相対的貧困率は OECD 加盟国 36 か国中12番目に高く13.9%。(デンマーク2.7%韓国7.1%) 子どもがいる現役世帯のうち、ひとり親世帯の相対的貧困率は50.8%であり **OECD 加盟国中最も高い状況です!**



こんにちは  
たかじょう 訓子です

日本共産党世田谷区議会議員

2018年2月号  
連絡先  
日本共産党世田谷区議団  
〒154-0017  
世田谷区世田谷4-2 1-2 7  
tel :03-5432-2791  
fax:03-3412-7480  
携帯 : 090-6655-2003